

# 平成30年度入学生 キャリア教育全体計画書

佐久平総合技術高校白田キャンパス

## 1 全体目標

○ 地域社会を支える人材として、自立した社会人とめざす人間の育成

## 2 現状・課題

総合的な時間やキャリア教育と位置付けしている教科と普通教科や専門教科との共通した取り組みや連携した取り組みがスムーズに行っていない。先生方の異動により、総合学科におけるキャリア教育の位置付けや取り組みが理解されにくい現状がある。総合学科やキャリア教育、総合的な時間についての理解をしてもらう取り組みを行う

## 3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を含める。学校で言い換えた力でもよい

- a 自己の在り方、生き方を考え、将来設計に取り組む力
- b 卒業後の進路について、前向きに取り組み、その実現を目指す力
- c 社会や仕事で一般に必要な基礎力
  - c1 コミュニケーション力
  - c2 自他の理解力
  - c3 課題解決力
  - c4 キャリアプランニング力

## 4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する	ア 学校生活全体の教育活動をキャリア教育の場と捉え、実践する。 イ 取り組みの繋がりを構成して、3年間の系統的な指導体制を整える。
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 講演会や就業体験活動やSST等は事前・事後指導、特に振り返りと身に付いた力(基礎的・汎用的能力)の確認をする。
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促し、将来の職業を考える	エ 年度末に評価を行い、次年度の取り組みに生かす。 オ 地域社会や日本・世界の様々な現実や課題、人間の生き方について考えさせる。
④卒業後の進路を選択し、実現をめざす	カ 知識・技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランス、言語活動の充実を図る。学んでいることと社会のつながりを意識させる。
⑤	キ 家庭や地域社会、産業界等の力を活用する。就業体験活動等、地域社会での体験活動を推進する。

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・「自己探究」ではすべての系列の体験学習から、自己の適性をさぐる。
総合的な学習の時間	・「キャリアミドル」では、就業体験を課題として、それに向けた事前学習と、事後の振り返りを行う。 ・「キャリアチャレンジ」では自己実現に向けた具体的な取り組みを支援する。
特別活動	・人間としての在り方、生き方を考えるための講演会、対人関係を見直すSST、小論文等。 ・勤労観、就業間の形成を促すための就業体験(2年)、講演会、労働講座(3年) ・科目選択、進路の研究と選択 ・将来設計
校外の体験活動 (就業体験活動等)	・就業体験活動(2年生の夏休みに全員行う)〈2年〉 ・福祉施設体験、看護体験、オープンキャンパス(希望者)〈1・2・3年〉
地域や産業界等との連携	・「地域の課題を考えよう」(産業社会と人間) ・就業体験(事前・事後指導も含む)
評価	・生徒の自己アンケート、教員アンケート、キャリア教育への取り組みを評価し次年度につなげる。 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用

中学校との連携 (指導の継続性)	・高校入学までのキャリア形成の振り返り(入学時) ・学校説明会で高校のキャリア教育を説明
校内の推進体制	・総合学科係を中心に総合学科のキャリア教育の体制構築を継続する。 ・委員会等で内容の共有を図る。

### 5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	○自己を知る。他者を知る。 ○系列の学び研究から進路研究をする。 ○未来の道筋を考える。	○職業研究 ○職業体験 ○職業と自己との融合	○近未来の具体的な目標の設定 ○つきたい職業と現実の融合 ○進学目標と実現への実践の手立て
主 取 組	○高校生活への適応 ○系列の学び体験から選択へ ○自己発信力の基礎	○就業体験(事前研究、事後研究) ○グループ研究発表	○就職のための具体的な取り組み ○進学に向けた具体的な取り組み
評 価	・自己および教員アンケート ・生徒意識調査 ・面接	・自己および教員アンケート ・生徒意識調査 ・面接	・自己および教員アンケート ・生徒意識調査 ・面接

年間指導計画と各取組の関連

\*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な学習の時間	特別活動等	その他(面接・評価等)
1 年	4 シラバスの説明(産・自) 今までの自分を振り返る(産) 3 系列の体験的授業(自) 7 二分間スピーチ(産) 10 年後30年後等の自分(産)		高校生活の意義と目的 グループ編成とクラスの集団作り	「自己探究」の3系列の希望調査・三者懇談
	夏休 他者へのインタビュー(産)			
	9 系列選択への移行(自) 他者へのつながり(産) マナーアップ講座(産) 地域人材による講演会(産)		松代見学に向けた平和学習 松代大本営見学	系列選択の決定
	12 1 自己発信のための準備(産) テーマ学習(産) 3 後輩への手紙(産)		1年間のまとめと反省	生徒意識調査
	春休			
2 年	4 7	「キャリアミドル」ガイダンス 職業適性検査 SSTの実施 インターンシップガイダンス 職業希望者のグループ化 グループ発表 先輩からの助言	2年生としての目標と心構え 集団作り	
	夏休	就業体験、報告書の作成(全員) オープンキャンパス等への参加	文化祭準備	
	9 12	地域と生きる 地域人材による講演 文化祭発表準備 (平和学習、地域研究等) 職業を知る 就業体験のまとめと発表準備	修学旅行に向けた平和学習 郊外生活の在り方 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">沖縄修学旅行</span> 修学旅行のまとめと反省	
	1 3	自己の確立 「産業社会と人間」からの総まとめと発表	3年生への心構え	生徒意識調査
	春休	オープンキャンパス等への参加 インターンシップへの自主的参加	SSTの振り返りによる社会性の涵養	
3 年	4 7	「キャリア・チャレンジ」ガイダンス 自己の進路実現のための過ごし方 最終進路希望の決定に向けて 進路別の説明会	SSTの縁切りによる社会性の涵養 マナーアップ講座の実施	

3 年	夏 休	進路決定への具体的取り組み		
	9	文化祭準備への取り組み	身だしなみ講座	
	12	自己実現達成へのチャレンジ	金融教育 老度講座	
	1 3			生徒意識調査